

発言No.

16

受付No. 3

令和4年2月14日

// 時33分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 22番

氏名 牛尾 昭

答弁を求める者

☒市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 誰も取り残さないコロナ対策について

1月27日から、県内にまん延防止等重点措置が適用された。コロナ禍は、3年目を迎え悲喜こもごもである。飲食店は、それなりに支援があるが、営業時間によっては、対象外である。また、飲食店と関係ある酒販店や仕入業者も大きな影響を受けている。

① 市長は、このような不公平感の認識をどの様に受け止めているのか問う。

② 市長は、不公平感のある業界への対策をどの様にお考えなのか問う。

③ 1月31日から、国による事業復活支援金支給事業が始まった。昨年の7月の県の事業継続給付金では、県立体育館に窓口があり、ある市民が伺うと、相手にされず、会議所の会員でもないの、益田の会議所に相談して事無きをえた、と聞いた。今回のサポートセンターは、松江市のみ開設で、西部地域は不便である。しかも、ネット申請のみで、ネット環境のない方にとっては、絶望的な政策である。これでいいのか、市長の見解を問う。

④ 今回の政策は、11月～3月期の売り上げが、前年度、前々年度と比較して50%以上、50%から30%以上が対象である。業界団体を歩いて見ると、売り上げ確保の為に赤字覚悟で出荷している。量販店売上は、巣籠り需要で大幅に伸びているが、実態は非常にきびしいとの、水産加工業界の嘆きである。市長の見解を問う。

2 浜田沖、天然ガスについて

株式会社INPEXは、石油天然ガスの探鉱・開発事業を手掛ける企業で、日本政府が甲種類株式を保有している。同社は、現在、2期連続配当中で、年間配当は、2年で2.2倍、株価上昇中で556円から1147円をつけている。事務所は駅裏に開設と聞いており、新年早々の朗報である。そこで問う。

- ① 施政方針に、島根県と連携して支援をしていくとあるが、どのような支援なのかについて問う。
- ② 天然ガスが商業ベースに乗るとなれば、パイプラインの設置は、浜田市が有利と思うが、その様な流れになれば、島根県に新たな産業が起こる起点に繋がると思う。港湾計画と整合性のある今後の方向性を問う。
- ③ この問題については、先年、浜田インター沿いの加工団地造成の調査事業が行われたが、実現しなかった。この間、誘致企業の要望にこたえられなかったと聞いている。この際、国・県を巻き込んだ、天然ガス田の開発を円滑に進めるための、後背地整備が必要と思うが見解を問う。